

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

森林の適正な管理を実施するとともに、森林資源の循環利用を図り、持続可能な社会を目指し、伐採後は確実に植林を行いカーボンニュートラルに向け、適正に管理された森林が炭素吸収源として社会に貢献できる森林組合システムを目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	1)新たな価値の創出と森林組合(会員)への提供 組合と協力して新しい価値の創出に努め、組合が安心・活力・満足を感じる技術・サービス・商品を指導体制のなかで提案・提供します。	15全森林組合を対象とした研修会の開催 2023年7回実施 2026年7回開催の継続実施
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	2)自己成長・自己実現の追求 職員一人ひとりを尊重し、各々が自己成長と自己実現を追求できる職場環境づくりと技術力の更なる高度化に努めます。	職員の保有資格数 2023年 53資格 2026年 55資格
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	3)社会への貢献 安全確保とコンプライアンスを基本に、自然環境の維持・向上に努め、地域・文化・社会の発展に貢献します。	森林組合の皆伐後の再造林率 2023年 100% 2026年 100%

<パートナーシップ>

森林所有者により組織される単位森林組合と森林の管理に関する情報を共有し、信頼関係を築くとともに、連合会内部においても、職員全員が働きやすい職場環境の整備を図る。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	循環型林業の確立と系統木材販売力の強化	木材原木の取扱量(年間) 2020年70,000m ³ →2023年75,000m ³	2023実績 82,880m ³
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	協同組合として組合員に信頼される組織体制の確立	法令遵守研修(年間) 2020年1回 →2023年2回	2023実績 役員1回 職員1回 計 2回
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	高度人材の確保・育成	採用者の定着率の向上 2020年94% →2023年98%	2023実績 退職者0名 100%定着

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。